



小学校自然教室終了間近

川崎の市立小学校は15校あり、全校の5年生が川崎市八ヶ岳少年自然の家へ2泊3日でやってくるのが小学校の自然教室です。5月から始まり11月の初めまで続きます。ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会等にぎわう夏休み期間中は自然教室はお休みになります。今年は7月18日で前半が終わりました。例年ですと後半の自然教室が始まるのは9月からです。今年は8月27日から始まりました。後半で少年自然の家に来る小学校は66校です。最後の学校が帰るのが11月7日になっていますのでまもなく終了します。普段出来ないような体験をして、事故なく元気に、喜んで帰って頂ければと緊張の毎日です。1月になるとスキーを中心にした中学校の自然教室が始まります。気の抜けない毎が続いています。

ホームページリニューアル

10月13日に当施設のホームページがリニューアルされました。折々の周辺の自然情報やトピックスなどを随時掲載するブログも新設されました。従来より写真も豊富に掲載され、見やすくなりましたので是非開いてみてください。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

所長のひとりごと 14

三井一則

秋になると思い出す景色がある。列車通学をしていたときの風景の一コマだ。

単線だったと思うのだが、湖周に合わせるように線路は緩やかにカーブを描きながら、西から東へそして南へと向かって走っていた。街も道路も今ほどに整備される前、そのあたりはまだ一面水田が広がっていた。秋晴れの日暮れ前、刈入れ時の田んぼは黄金色の波のようで夕日に照らされ波打っていた。西の山際にある秋の陽は、湖面に反射し水田地帯とちょうど帰宅時間に乗車する列車を照らし出す。車両はその光の中を進んでいくことになる。

列車は線路の弧にあわせ少し傾きかげんに進み、それにあわせて先頭の車両から徐々に夕日が当たり、光は車内いっぱい広がっていく。そして、弧の真ん中あたりで全車両が黄金色に輝く瞬間がやってくる。車内の誰の顔もまばゆく輝く、忘れられない風景となった一瞬だった。

この景色は忘れないでおこうとそのとき思った。心に残る景色はたくさん持ちたい。残してあげなくてはいけないのだと思う。

2008. 11. 1

主催事業

「自然探検隊」青少年科学館と共催で行っている自然探検隊が10月11～13日、八ヶ岳少年自然の家で開催されました。川崎の子どもは17名、富士見の子どもは14名です。7月にすでに交流している子どもたち同士、和気あいあいと協力しながらいろいろな活動をし、交流を深めました。活動内容は奇石博物館の見学、夜の星空観察、星の星の観察、水生昆虫の観察、キノコ観察、オリエンテーリング、ペットボトルロケット作りと発射等です。最後のお別れときは、すっかり仲良しになった川崎と富士見の子どもたち、お互いに手紙のやり取りや、また会う約束などをしていました。

「森の探検団」これは家族ぐるみ

で参加し、自然体験を共有して家族のつながりを深め、他の家族同士との交流を図ってもらおうという事業です。連続3回の3回目を10月17～19日に実施しました。



森の探検団の稲刈り風景

8家族28名が参加し、協力して稲刈り、きのこ狩り、サツマイモ掘り、からまつの伐採等を行いました。また、野外炊飯場で収穫したサツマイモやキノコを入れたほうとうを作って食べました。夜は星空を観察しました。今回は最後に星座の位置から時刻を知る星時計作り

をして締めくくりました。このような事業を通して、八ヶ岳の自然の魅力や少年自然の家について理解を深めて頂けたようでした。

毎月実施している「八ヶ岳自然紀行」は10月18～19日に「秋の味覚と八ヶ岳ハイキング」を実施しました。参加者は12名、景色の良い鼻戸屋へのハイキングとキノコ狩り、そして収穫したキノコを使ってキノコ汁を楽しみました。9月に計画した「幼児のためのお月見と自然遊び」は、応募者が少なく中止になりました。

「ふじみ星空観察会」は9月5日、10月3日に実施しました。9月は好天に恵まりましたが10月は雲に邪魔されました。星が見えなくても、最近登録数が5個に増えた準惑星、特に今年登録されたマケマケやハウメアの話をしました。

ムラサキセンブリの不思議

先日、いつものように花壇の手入れをしていると、なにやら見たことのない花が咲いていました。図鑑で調べると、なんと「ムラサキセンブリ」という花で、最近では少なくなってしまう花だそうです。この仕事を始めて9年になります。初めて見る花でした。種をまいたわけでもないのになぜ？と思いますが、きっと土の中で眠っていた種が目覚めたのでしょう。その証拠にその花壇は2年前に木を切って、ワーキングホーメル裏の土を入れて作り直したところだったのです。いつも自然の力の不思議さにワクワクしながら仕事をしています。



施設紹介

クラフト室

センターハウス（管理棟）内にある定員327名の食堂、甲斐駒の階下にある部屋がクラフト室です。ここにはいくつかの作業台とクラフトに必要な材料や道具が揃えられています。材料としては白樺材を輪切りにしたシラカバチップ、バードコールを作るための小枝とヒートン、鳥の巣箱や焼き杉板を作るための杉板。そのほかにリース作り等に重宝されるカラマツポックリ、マツポックリ、トウヒポックリ、クヌギやコナラのどんぐり、しおりやカード作り等に使う落ち葉や花の種子などが用意されています。道具としては、ボール盤、タップ切り、かなづち、釘、のこぎり、なた、きり、ペンチ、千枚

通し、定規などです。そのほかに、ボンド、グーグルガン、マジックインキ、ポスカ、絵の具、クレヨン、色鉛筆もあります。また、ここには花壇の維持管理をするための道具として、草刈機、スコップ、鎌、ミなども置かれています。



では、実際にどのような使い方をしているのでしょうか。部屋はそれほど広くありません。せいぜい20名程度しか入れませんので、20名以下の団体や、グループ、家族が室内で作業することになります。

す。主に白樺チップに絵付けをしてコースターや置物を作ったり、杉板で小鳥の巣箱を作ったり、杉板を焼いてから磨き、絵を描いたりしてドアサインのようなものを作ったり、小枝でキュッ、キュッと音の出るバードコールを作ったりします。時には落葉を貼り付けたカードをパウチして仕上げたり、花炭を作ったりすることもあります。大勢の団体はここに入りきれませんが、材料をここから持ち出し、野外炊飯場やバーベキュー場を使って、前述のようなものを作ります。ですからクラフト室は小団体のクラフトの材料置き場であり作業場ですが、大きな団体の材料と道具の格納場所になっています。



感想文より

「少年自然の家」が全国的にどの規模で、どんな施設内容か知りませんが、こここの敷地、施設の内容からみて全国有数ではないでしょうか。ここでいろいろな体験できる子どもたちは幸せだと思います。



アストロハウスの体験は素晴らしいものでしたし、食事は心のこもったおいしい食事でした。これはひとえに関係者の皆様の善意、英知、努力の賜物に他なりません。また、ここでいろいろな体験が自分を刺激し、いろいろなことにモチベーションを高めてくれました。こうした意味でも大変ありがたく、お礼申し上げます。

（家族利用の方から）

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費は必要。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から一つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産に持ち帰ることがができます。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での天体観察をします。木星や星雲や

星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月開催しています。

●紅葉めぐりとそばうち体験

・カラマツを中心にした黄色に変わったハヶ岳山ろくに、真っ赤に色づく葉や実を観賞しつつ、そばうちを体験して打ちたての美味しいうちそばを賞味して頂きます。

・ 11月22日～24日（2泊3日）

●初冬満喫 ハヶ岳のクラフトワーク

・ ハヶ岳の自然の素材を使ってリースを作ったりし、ハヶ岳の冬の訪れを感じて頂きます。

・ 12月13日～14日（1泊2日）

●スキー教室

・ 3回実施します。どの回にも参加いただけます。これを機会にハヶ岳の冬に触れてみましょう。

・ ①1月24～25日

・ ②2月7～8日

・ ③2月21～22日

費用、内容、申し込み方法等、詳細についてはお問い合わせください。



あとがき

早くも木々の葉が色づき始めています。以前は10月23日ごろ燃えるように真っ赤になった少年自然の家の紅葉は、温暖化の影響でしょうか、一週間ほど遅れて見頃になります。その紅葉が散るのに合わせて自然教室が一段落し、少年自然の家は池の水を抜いたり、落ち葉かきや側溝の清掃をし、冬の準備にかかります。

川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

TEL 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社